

(別紙4(2))

事業所名 えくせれんと衣笠

作成日: 令和 3年 6月 14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 入居時に説明を行い同意を得ていますが、重度化した際に、その都度、意向の確認を行う取り組みは行っていない。	重度化した際、都度、意向確認を行う体制を構築する。	ケアの統一を図る上でも、その都度、家族の意向を確認し同意を得ることや、看取りプランを作成していくための計画を立てを実施し、どなたにでも同じ対応が出来る体制を整える。	6ヶ月
2	35 (13)	○災害対策 年に2回防災訓練を行っており、職員も参加して避難訓練を行っているが、地域との協力体制は築けていない。また、備蓄に関して、入居者の人数以外にも職員の人数を勘案して整備出来ていない。	地域との関係性を明るくし、協力体制を構築する。 入居者・職員分の備蓄品を整備する。	西隣が広域避難場所の小学校でもあるため、今後コロナ収束の際は、地域に貢献できる取り組みを実施していく。 直近の訓練を通して現在の備蓄品数の把握と必要備品数などを抽出。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。